

読売KODOMO新聞

よみうりこどもしんぶん

2013年(平成25年)

12月5日

毎週木曜日発行

発行所 読売新聞東京本社

〒104-8243 東京都中央区銀座6-17-1

☎03-3242-1111(代) www.yomiuri.co.jp

特別協力

小学館

第145号

月500円

1部 150円

(税込み)

年賀状 心を込めて

年賀状を書く季節です
書き方や出し方...
いろんなルール、
知っていますか？



KODOMO新聞
編集室



宮坂永史撮影

時代を映す
くじの賞品

年賀はがきの下についているお年玉くじ。賞品からは、その時代の雰囲気を感じます。次のものは、何卒の賞品かな？



①ミシン



②1万円



③電卓

ア 2014年 イ 1950年 ウ 1973年

もう、2013年も残すところ1か月を切りました。そろそろ、年賀状を書き始める時期ですね。でも、ちょっと待って。年賀状を書くときには、いろいろな決まりがあるようです。

千葉県匝瑳市立豊栄小の5年生は、授業で書き方を教わっていました。まずは、「明けておめでとうごういす」と書きました。

その次は、「バスケット、空手、勉強がんばります」「サッカーの試合で1勝をあげたいです」……。新年にがんばることを宣言しました。前向きなことを書くこと、お正月に届く年賀状らしくなりました。

その目標をつかみとろうと、絵の具で自分の手も描いてあります。どの年賀状からも、「2014年もがんばるよ」という熱い思いが伝わってきます。

さて、豊栄小のみんなが教わった決まりとは？

(2ページにつづく)

年賀状は、普通の手紙とちよつと違います。年賀状ならではのルールがあるからです。千葉県匝瑳市にある豊栄小の5年生が書いた手紙も、すぐに年賀状だって分かりやすいね。

まず、年賀状には、賀詞という新年を祝う言葉を必ず一つ入れなければいけません。「明けましておめでとう」「謹賀新年」といった言葉です。また、「賀正」「寿」など漢字1〜2文字の賀詞は、先生など目上の人には使わない決まりがあります。

日付も必要です。1月1日に届くときは、「元旦」とか「1月1日」と書きます。ちなみに「旦」は、水平線の上に太陽が出てくる様子を表した字なので、「元旦」は1月1日の朝という意味です。

右の手本を参考に、年賀状を書いてみてください。

年賀状の書き方

年賀マーク 年賀はがきは「年賀」と印刷されている。普通のはがきで出すときは切手の下に赤字で「年賀」と書かないと、お正月前に配達されてしまう



連名 同じ住所の人に送るときは、2人目以降は名前を左横に並べていく

新年手書きで祝う

1000年前から続く伝統

年賀状の歴史は古く、1000年ほど前の平安時代にはあったそうです。この時代の書物に、年賀状には「石改年之後、富貴萬福、幸甚々々(幸せな年になりますように)」と書くようにという記録が残されています。年賀状に込める思いは今と変わらないのですね。

明治時代に入ると、年賀状を書く人がどっと増えました。郵便制度が整って、全国どこでも安い

料金で送れるようになったからです。当時は、元旦に年賀状を書いていました。そのため、元旦には、ポストから年賀状があふれてしまうこともあったといえます。

そこで1899年(明治32年)から始まったのが、年末に年賀状を集めて元旦に配達するサービス。こうして、年賀状は年末に書かれるようになったのです。

年賀状の歴史

701年	手紙を運ぶ制度ができた
平安時代	年始のあいさつに書く文章の例をまとめた書物が完成
江戸時代	手紙を運ぶ制度が発達
1871年	ポストに手紙を入れたら、全国どこでも安い値段で送り届けてくれる郵便制度が始まる
1873年	郵便はがきが発売される。最初のはがきは二つ折り。紙の質が悪く、墨が裏面に映り、そこに書いた字が読めないため
1899年12月	年賀状を12月に集めて、まとめて1月1日に届ける制度ができる
1949年12月	お年玉付き年賀はがきが発売される。くじ付きのはがきは世界で初めて



いずれも郵政博物館提供

日付 「元旦」は1月1日の朝のこと。「1月1日元旦」は使わない。1月2日以降に出すときは、日付を書かない



賀詞 新年を祝うあいさつの言葉。ただけ書く。漢字1〜2文字の賀詞は、目上の人には使わない。「明けまして」「新年」の意味があるため、「新年明けましておめでとう」は間違い

一言 新年の目標など前向きな話題を書こう。「去」は新年にふさわしくない漢字といわれるため、「去年」ではなく「昨年」を使う

出す時期 「松の内」までに出す。松の内とは、門松など正月用の松飾りを飾っている期間で、1月1〜7日。これを過ぎたら、「寒中見舞い」になる

スマホで入力 はがきが届く

最近、年賀状を書く人が減っています。メールを使う人が増えたためです。

年賀はがきを扱う日本郵便は、あの手この手で巻き返しを図っています。インターネットサービス会社と組んで、スマホやパソコンで年賀状を送るサービスも出てきました。

年賀はがきをポストに入れる必要はありません。ウェブサイトで年賀状の裏面をデザインし、住所を入力すれば、1月1日に相手に年賀はがきが届きます。住所を知らなくても、メールアドレスや携帯電話の番号が分かれば送れます。

どんな年賀状でも、心を込めた言葉がひと言でもほしいですね。それが手書きなら、より味わいが出ます。年賀状は、一枚ずつ、相手を思って書くことに意味があるのです。

1ページの答え

- お年玉付き年賀はがきは、1950年用のものが始まり。戦争できずついた人々を励まそうというのが目的だった。
- ① 服は自分で作るのが当たり前の時代。ミシンはとて高く、女性のあこがれの品だった。
 - ② 年賀はがきの売れ行きが落ちていることから現金が登場。当選確率も10倍アップした。
 - ③ 73年の1等。この時期に家庭で使われ始め、大人気に。